TOKYO BAPTIST CHURCH 東京バプテスト教会
Weekend Message
週末メッセージが聞けます http://tokyobaptist.org/sermons/

王が来られたⅡ　内側を清めよ

マタイによる福音 23:23-28

2023年4月1日& 2日

余沢　武　牧師

I.　初めに

こんにちは。今度の金曜日は 7:30PM からグッドフライデー（聖金曜日）の礼拝があります。祈りの時を持ち、聖餐式を行います。この礼拝はライブストリームでも配信もされます。また来週末は復活の週末礼拝です。ちらしがありますので、お友達やご家族を招待するのにご利用ください。

マタイの学びを通して、私たちはイエス様が律法学者とファリサイ派の不幸を公言するのを見てきました。

イエス様は彼らがこのような罪を悔い改めなければ、神の裁きを受けると宣言しています。

#1. 天の国を閉ざす
#2. 改宗者ができると、自分より倍も悪いゲヘナの子にしてしまう。
#3. 神の御言葉には従わず、偽りの誓いをする

今日は、ファリサイ派のもう一つの問題から学びます。まずはお祈りしましょう。

II.　内側を清めよ

(1)　より重要なこと

マタイによる福音書 23:23 を開きましょう。『律法学者たちとファリサイ派の人々、あなたがた偽善者に災いあれ。あなたがたは、ミント、ディル、クミンの十分の一は献げるが、律法の中で最も重要な公正、慈悲、誠実をないがしろにしている。これこそ行うべきことである。もっとも、十分の一の献げ物もないがしろにはできないが』。

旧約聖書はユダヤ人に十分の一の捧げ物をするように、つまり産物の 10%をささげるように命じています。

- この命令は彼らが収穫した種、穀物や果物を対象としていました。
- ファリサイ派は、この命令を拡大して、庭のハーブ、ミントやディル、クミンといった小さな鉢で育てられていたものも対象としました。

彼らは料理のためにハーブを摘むとき、1/10 を神の分として取り分けていました。

「什一献金」の目的とは（申命記 14:23）『…あなたが、あなたの神、主を常に畏れることを学ぶためである。』ここで疑問が湧きます。「神を畏れる」とはどういう意味でしょうか。

ポール・トリップ博士は次のように言っています。「主への畏れとは、あなたの心をつかみ取るような、神へのうやうやしい畏怖です。それによりあなたは主の知恵を進んで聞き求め、主の命令に進んで従い、自らの意志を主の意志に委ね、そして主の恵みの素晴らしい約束の内に安らいます。主への畏れは、あなたを神から遠ざけるものではなく、むしろあなたを神の元へと走らせ、神から離れない生き方へと導きます。」
(The Gospel: One Proverb At A Time, 011, Fearless Fear)

これこそ「什一献金」の神髄です。つまり簡潔に言えば、主を完全に信頼し、主の御言葉に従い、主の恵みにより頼むというような態度で什一献金をすることで、私たちは神を崇拝することになるのです。

だからこそ、クリスチャンとして、律法の元に生きてはいなくても、私たちの多くは什一献金を行うことで、神を崇め、完全に信頼し、御言葉に従い、主により頼むことを学ぶのです。そして私たちが主の御言葉に完全に従うとき、イエス様によると、神を愛することと他の人々を愛することを学ぶのです。

しかしイエス様によると、律法学者とファリサイ派の什一献金は何かが違ってしまいました。神を愛することと他の人々を愛することを学び、

公正---正しいことをする
慈悲---他者を愛する
誠実---神を信頼し神により従う

これらのことを育てる代わりに、彼らはさらに多くの物…ミント、ディル、クミンも什一献金の対象に導きましたが、でも「愛」は成長していません。

イエス様は言っています。（マタイによる福音書 23:24）『ものの見えない案内人たち、あなたがたは、ぶよは漉して除くが、らくだは呑み込んでいる。』

言い換えれば、「あなた方は意味のないことをしている！」ということです。ブヨもラクダも「不浄」と考えられていました。偶然ブヨの入っているワインを飲んで不浄になってしまわないように、ファリサイ派は追加の慣習として、ワインを飲む前に必ずガーゼで濾すようにしていました。

不浄なものを飲まないように手間をかけると同時に、もし同じく不浄なラクダを丸ごと食べていたとしたら、それでは全く意味がありません。イエス様は、ファリサイ派が什一献金によって行っていることは、まさにこれと同じだと言っています。

彼らはもっと什一献金をするように自分たちで命令を追加したのです。

しかし彼らはより神を畏れることをせず、より他者を愛することをせず、または正しいことを行い、慈悲深く、より誠実であろうとはしませんでした。その代わり、彼らはより高慢で他者に批判的になりました。イエス様は、彼らは完全に意味のないことをしたと言いました。

私たちも同様のことに気を付けなければなりません。礼拝に来るときに私たちは聖書に余計な命令を追加して「これやあれをするべきだ」とか「服装はこうじゃなきゃいけない」などと言って、神を畏れて他者をより愛する代わりに、高慢で批判的になり、意味のないことをしてしまうかもしれません。

（2） 内側 vs. 外側

イエス様は 25-26 節へと続けられます。『律法学者たちとファリサイ派の人々、あなたがた偽善者に災いあれ。あなたがたは、杯や皿の外側は清めるが、内側は強欲と放縦で満ちている。ものの見えないファリサイ派の人々、まず、杯の内側を清めよ。そうすれば、外側も清くなる。』

イエス様は問題の核心に触れ始めます。ファリサイ派は、本当に大事なのは内面の敬虔さだとは知らないまま、彼らの外側の敬虔さを非常に気にしていました。

イエス様は彼らを、外側はきれいだけれど不浄で汚い食べ物を中に盛られている、杯や皿に例えました。

私がまだ若い牧師だった頃、結婚当初、私には良いクリスチャン家庭はこうあるべきとか、良きクリスチャンの子供はこの様に育てられるべき、と信じていた考えがありました。

私はそれを妻の美樹にも話し、そして私たちはそれを実行することに合意しました。美樹は努力しましたが、でも私の求める基準には達していませんでした。そして私は常に彼女に注意していました。それは彼女の毎日を惨めにしてしまったのです。

妻は私に憤りを感じ始めました。ある週末、5回の礼拝すべてでメッセージをして、私が帰宅した時のことです。彼女が意味ありげな視線と共に、私に「偽善者」と言ったのです。

私は何か言い返したかった、しかし、そうすべきでないとわかっていました。私は寝室に行って、跪いて尋ねました。「神様、私はどうしたらいいのですか。教えてください。あなたが望まれる夫になれるように助けてください。」私はそのままそこで一時間ほど祈りました。これが何週間も続きました。

徐々に私は理解し始めました。私がクリスチャン家庭やクリスチャンの子育てにに必要だと思っていた「良いこと」は、聖書には一つも書かれていませんでした。聖書の中で命じていることは、『夫たちよ、キリストが教会を愛し、教会のためにご自分をお与えになったように、妻を愛しなさい』でした。

私が自分で追加した決まりはどれも大事ではないことに気が付きました。大切なのは私の内面だったのです。私が神様の御言葉に照らして、正しいこと、慈悲に満ちたこと、誠実なことを行っているか、なのです。

それが私たちの家庭がどのようになり、私たちの子供たちがどのように育つかを決定するただ一つのことだったのです。そして、私がしなければならないことがありました。

① 私のやりかたをあきらめて、すべて神様にお任せする。十字架に走り寄りイエス様に赦しを求める。
② イエス様が私の罪のために死なれ、よみがえられたと信じる。
③ 主に信頼すること御言葉に従うこと、そして妻を愛することに集中できるよう、私を助けてくださるように神に祈る。
④ 私の内でまた私を通して主の聖霊が働いてくださるように、聖霊に拠り頼む。

これこそが、杯と皿の内側をきれいにする方法です。これが律法学者やファリサイ派ができなかったことです。彼らは、真の問題が自身の内にある

ことに気が付かないまま、全てを改善するべく掟を追加し続けていました。

これが、私たちの家庭をより良くする方法です。これが職場や学校をより良くする方法です。これが教会をより良くする方法です。私たちが作った決まりを追加するのではなく、十字架の元に駆け付け、赦しを求め、神様の御言葉に従い頼れるように助けを求めるのです。

（3）　白く塗った墓

イエス様は 27-28 節へと続けます。『律法学者たちとファリサイ派の人々、あなたがた偽善者に災いあれ。あなたがたは白く塗った墓に似ている。外側は美しく見えるが、内側は死者の骨やあらゆる汚れで満ちている。このようにあなたがたも、外側は人に正しいと見えても、内側は偽善と不法とでいっぱいである。』

イエス様は、律法学者やファリサイ派は白く塗った墓のようだと言っています。旧約聖書の掟によると、墓を触った人は、中の不浄な骨によって 7 日間穢れていました。

そのため過越祭を祝うためにエルサレムに行くユダヤ人たちが、うっかり墓に触って穢れてしまわないように、注意するために墓を白く塗っていたのです。墓に触れてしまった人は穢れるので、過越祭には参加できませんでした。そのため、墓はみんな白くきれいな見た目になっていました。

イエス様は、当時律法学者やファリサイ派は、その白く塗った墓のようだと言いました。外見は賢そうで、とても良い、敬虔な人たちに見えました。しかし内面は不信仰な罪人たちだったのです。そして彼らと付き合う人たちはみな影響されて、彼らもまた不信仰になっていきました。

そしてファリサイ派が作った追加の掟を大事にし、他者に批判的になっていくのです。でも自分たちの内側にある問題に目を向ける必要がありました。

① 十字架の元に行く
② 神に赦しと助けを請う
③ 神の恵みを拠り所とし、神に清めていただくこと

イエス様は弟子たちに警告されました。「ファリサイ派とサドカイ派の人々のパン種に十分注意しなさい」（マタイによる福音書 16:6） 気を付けなければ、私たちはファリサイ派の人々と同じことをしてしまうでしょう。

私たちは日曜学校や聖書の学び、スモール・グループや、礼拝などで、聖書にはない決まりを作って、ふるまい方、話し方、適切な服装などなど教えて、みんなを批判的な考え方にすることもできます。

または、日曜学校や聖書の学び、スモール・グループや、礼拝などで、このように導くこともできます：

①十字架の元に行く
②神に赦しと助けを請う
③神の恵みを拠り所とした、正しいこと、慈悲深いこと、誠実なことを行う

どちらを私たちは行っているでしょうか。

ファリサイ派は信仰について勘違いしていました。彼らは御言葉に従おうとしました。そして自分たちはよく従っていると思っていました。より神様の前に正しくあるために、どんどん決まりを増やしていきました。そしてその決まりを守れない人たちを批判し始めました。

御言葉に従おうとするよりも、自分たちがどれほど罪深いかに気付き、神様の元に駆け付けて赦しと助けを求めるべきでした。そうすれば、神様の助けによって、正しいこと、慈悲に満ちたこと、誠実なことができたのです。

私たちはどうでしょうか。もし自分が作った決まりに基づいて他の人を批判しているなら、私たちも変わる必要があります。もし、あなたがそういう状況ならば、今日ぜひ十字架の元に来られるように、招かせてください。そして主の赦しと助け、恵みを受け取ってください。

祈りましょう。

指定のない限り聖書は協会共同訳を使用しています。
聖書　協会共同訳: ©日本聖書協会
Japan Bible Society, Tokyo 2018

キリストのことをもっと知りたい
洗礼を受けたいという方はこちら
メール：cc@tokyobaptist.org
もしくは：https://t-b-c.us/cc

TBC Life 申込み
（毎週届くメールニュース）
http://t-b-c.us/tbclife

SG レッスンの PDF
https://t-b-c.us/sg1323jp

★クラス 201
クリスチャンとして成長するために
4 月 15 日（土）13:30～17:30
参加条件: クラス 101 を修了した TBC メンバー

★クラス 301
賜物発見クラス
5 月 13 日（土）13:30～17:30
参加条件: クラス 101/201 を修了していること
https://t-b-c.us/classes

オンライン献金
http://t-b-c.us/give